生命の大切さを学ぶ交通安全講話を実施

正しい交通道徳を身に付け、生命の大切さを認識し、交通安全の意識を高めるために、交通安全講話を実施。講師は小樽中央自動車学校三上惠吾指導員。交通事故の現況について。交通事故を起こさないためにどうするか。交通事故につながりやすい危険な場所、場面。高通事故後の対応について説明がありました。その後、１，２年生はＤＶＤによる交通安全の重要性を視聴。３，４年生は、動体視力計と夜間視力計を体験学習。その後、生徒会長が全生徒を代表して「交通安全宣言」を行った

終了後生徒は「話がわかりやすくとても良かった」「視力計の体験は初めてだが楽しかった」「事故に対する油断をしないようにしたい」と感想を述べていました。

今回の交通安全講話は、例年行われている内容を見直し、視力計の使用体験などを取り入れながら、生徒の興味関心を高め、交通安全への意識が高められた内容でした。